

画像診断関係

在日米国商工会議所 (ACCJ) 医療機器・IVD小委員会

1. 中医協における画像診断および検査専門委員会)の設立
2. 乳房X線撮影検査の特殊撮影化

乳房X線撮影検査(マンモグラフィ)について、胸部単純撮影と同じ分類になっているが、これには高い診断技術能力が要求され、撮影技術や装置にも異なる精度管理が求められるため、胸部単純撮影とは別分類を検討していただきたい。

3. "先進画像加算"を導入して、新技術の推進ならびに医療提供の質の向上を進めていただきたい。具体的には、下記の技術等の適用を検討していただきたい。

例1)急性期脳虚血・脳梗塞の描出

急性期の脳梗塞に対して壊死に陥っていない組織を特定し、蘇生させるために、発症後、出来る限り早い時期にCT、或いはMRIの灌流画像、又は拡散強調画像の撮影を行なう。この画像診断によって入院期間の短縮、QOLの向上、及びトータルでの医療費の削減が期待できる。

例2)心筋虚血の描出

MRI、CTの心臓領域への適用については、目的に応じて、遅延造影、シネ、冠動脈、心筋灌流、などの撮影や、画像再構成、心機能解析、石灰化指数計算などを行なう。この画像診断によって冠動脈病変や心筋虚血の評価、疾病診断、治療方針の決定を期待できる。

なお、両例とも装置は高磁場MRI、マルチスライスCTを用いて、専門家(専門医、技師)の関与を施設基準とする。

4. 画像診断について、C2として評価されるための具体的必要条件を示していただきたい。

注) 1. は2004年9月28日、2. は2003年11月20日、3. 4. は2005年7月22日の定期会合での要望の再掲(2. 3. は一部改変)です。